

市民共同おひさまプロジェクトレター

NO. 8

〔編集・発行〕かわさき市民共同おひさまプロジェクト

2011年10月21日

みなさまの募金により第2号機が川崎フロンターレ麻生クラブハウス屋上に完成後 表示板と寄付者名板が設置されました



お待たせしました！ 寄付者名板が2011年9月にフロンターレクラブハウス門を入ったところに設置されました。開門時間内ならいつでもみることができます。

(なお、麻生グラウンド来場時の注意をお読みください。 <http://www.frontale.co.jp/access/asao.html>)

天ぷら油のBDFバス見学会に協力

9月29日、NPO法人かえるプロジェクト主催の見学会「乗ってみよう！ 廃食用油で走るバス～エコのまち麻生区めぐり～」に協力しました。

この見学会は、①区政20周年を契機に2002年に設置された麻生区役所屋上の太陽光発電パネル(5kW)②川崎フロンターレ麻生クラブハウスの市民共同太陽熱温水器(2号機)③小田急線はるひ野駅舎の10基の小型風力発電④水道施設を利用した680kWの神奈川県営柿生水力発電、最後にセレスアモスに寄って地産地消のお買い物という自然エネルギー施設のエコポイントを巡るコースです。2号機は、その見学ポイントの一つなので、午前と午後2回、おひさまプロジェクトの説明を飯田と岩本が担当して行いました。

真紅の車体に「使用済み天ぷら油で走っています」というステッカーを貼ったBDFエコバスは、排ガスからは天ぷら油の臭いはしませんでした。定員いっぱいの参加者を乗せて出発進行、BDFが果たす役割など主催者側のレクチャーに続き、順次見学施設の説明や質問で車内は活気に満ちてにぎやかでした。



麻生グラウンドに着き、門を入ったところに設置した2号機表示看板の前に集まり、名板には寄付者のお名前が記載されているのを見てもらいました。さらに、フロンターレの山田さんも加わって、貯湯タンクが見えるところで、屋根に設置されたパネルと地面に設置の貯湯タンクで1セットの太陽熱温水器システムについて説明しました。

今回、午前と午後約40人が参加しました。参加者の方に川崎市の太陽熱利用補助金制度の資料を配り、お風呂や台所で給湯を必要とする家庭においてこそ、エネルギー効率のよい太陽熱温水器を導入してほしいと伝えました。

このようなBDFエコバスで自然エネルギー施設を巡る見学会は素晴らしい企画です。各区でも開催してほしいです。(岩本孝子)

川崎市国際交流センター（1号機）の 市民共同おひさま発電所見学に対応



- 8月16日、目黒区が「めぐろ環境ナビゲーター養成講座」の施設見学先選定を目的に、エコライフ推進協会など9名が見学に来ました。熱心に見学、パネルの向きや傾斜に興味を持ったようです。
- 8月20日、国際交流センターやプレーメン通り商店街の近隣住民6名が見学に来ました。
- 10月13日、脱原発・再生可能エネルギー社会をめざす川崎市市議会議員ら5名来訪。既に9月7日に2号機太陽熱温水器も見学しています。

インターナショナルフェスティバルで 「みのもんたの朝ズバッ！」取材



7月3日、世界中の音楽やお料理など文化を楽しみながら交流できる「インターナショナルフェスティバル」が例年どおり賑やかに開催されました。かわさき地球温暖化防止活動推進センターのブースに参加し、市民共同で設置した1号機についてTBSのテレビ取材を受けました。7月5日早朝、みのもんたの朝ズバッ！で放送され、浮島メガソーラーなど川崎に集中する最先端エネルギー施設とともに、市民の取組としておひさまプロジェクトの活動も紹介されました。

2号機取材に対応 6月1日放送のNHK首都圏ネットワーク「街ぐるみで多様な自然エネルギー」は下記で公開されています。http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_shutonet_20110601_1095

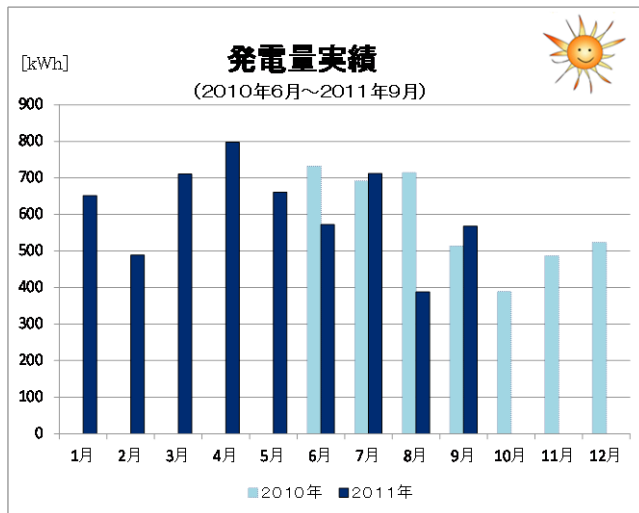
[連絡先]

かわさき市民共同おひさまプロジェクト
NPO法人アクト川崎事務局内
〒211-0004川崎市中原区新丸子東3-1100-12
かわさき市民活動センター内ブース2
電話Fax044-422-7343/act.kawasaki@gmail.com
<http://www.web-k.jp/actkawasaki/index.html>

[編集後記]

エネルギーに関する会議が色々のところで開催されています。10月3日に始まった経済産業省の総合資源エネルギー調査基本問題委員会は、画期的な公開スタイルをとっていて、いつでもustream.tvで見ることができます。委員には飯田哲也さんもいます。★枝野大臣は冒頭挨拶で、「現状から出発するのではなくあるべき姿を示しそこへどう進んでいくのかを議論して欲しい」と発言し注目されました。★地道な活動を進めている私たちにとっては、大元のところで国民の意見を取り入れながら日本の未来を提示して欲しいです。ここで変わらなければ、日本は生き残れないのではないのでしょうか。(飯田和子)

1号機の発電データ



1年間で（屋上とプロムナードの2か所を合わせ）約7,000kWhを発電しました。8月は、気温の高い日が続いたことで発電量が落ちています。2008年8月24日に設置してから3年あまりで、二酸化炭素を7322kg-CO2削減し、地球温暖化防止に少し寄与できました。国際交流センターなので中国や韓国、西バルカン地域など海外からの見学者を含めて1号機の見学に年間約100人訪れました。

なかはらエコカフェに参加しました



中原区は地球温暖化防止の取組として「なかはらエコカフェ」を定期的実施しています。9月24日、市民ミュージアム広場においてソーラーチームの太陽と遊ぼう！に出展協力しました。ゲーム観戦にむけてフロンタールサポーターが続々とやってきます。今後、等々力競技場が太陽エネルギー利用のエコスタジアムに改修されることを願っています。